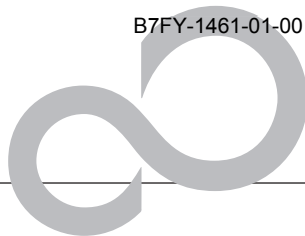


● PRIMERGY

● 取扱説明書

● リモートサービスボード

● (PG-RSB103/PG-RSB103L)



はじめに

このたびは、弊社のリモートサービスボード (PG-RSB103/PG-RSB103L) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、リモートサービスボード (以降、本製品) の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。ご使用になる前に、本書およびサーバ本体に添付の「PRIMERGY ドキュメント & ツール CD」内の『ServerView ユーザーズガイド』および『ユーザーズガイド』をよくお読みにたり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2005 年 5 月

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の「安全上のご注意」をよくお読みにたり、理解されたうえで本製品をお使いください。また本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途 (以下「ハイセイフティ用途」という) に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

当社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

Microsoft、Windows、MS、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005





* B 7 F Y 1 4 6 1 0 1 *




本書の表記

■ 警告表示

本書ではいろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

| | |
|---|--|
|  | △で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。 |
|  | ⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。 |
|  | ●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。 |

■ 本文中の記号

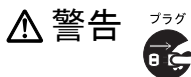
本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| 記号 | 意味 |
|---|---|
|  | お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
|  | ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。 |
| → | 参照ページや参照マニュアルを示しています。 |

安全上のご注意

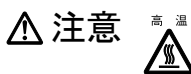
本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

■ 万一、異常が発生したとき



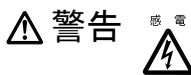
- ・ 万一、装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに装置本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、担当営業員または担当保守員に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプタの使用環境条件について



- ・ リモートサービスボードに添付の AC アダプタは、サーバ本体の動作状態（動作時・休止時）にかかわらず、周囲温度が 0 ~ 35 °C の環境を守ってご使用ください。特に夏場は、必要に応じて夜間・休日にも冷房を入れて、周囲温度が 35 °C を超えないようにしてください。温度条件が守られないと、火災・故障の原因となります。

■ 本製品の取り扱いについて



- ・ 本製品をサーバ本体に取り付けたり取り外したりする際には、安全のためサーバ本体および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。AC アダプタの電源プラグもコンセントから抜いてください。電源を入れたまま本製品を取り付けたり取り外したりすると、装置の故障・発煙などが起こる可能性があり、また感電の原因となります。



- ・ 本製品は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、製品を曲げたり、傷つけたり、強いショックを与えたりしないでください。故障・火災・感電の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・ AC アダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてください。火災・感電の原因となります。

■ 本製品の取り扱いについて

⚠ 警告



- ・近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやモジュラーケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては装置を破壊し、火災の原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などは、小さなお子様が悪く飲んでしまうことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



- ・本製品を勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



- ・取扱説明書に記載されていない AC アダプタは使用しないでください。また、AC アダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。
- ・使用中の AC アダプタは、布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。
- ・電源プラグを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり切断されたりして、火災・感電の原因となることがあります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。
- ・本製品をご使用にならない場合は、静電気防止のため付属の梱包袋へ入れて保管してください。

1 梱包物の確認

お使いになる前に、次のものが梱包されているか確認してください。

万一足りないものがございましたら、担当営業員または担当保守員にご連絡ください。

| | |
|---------------------------|--|
| <p>・リモートサービスボード (本製品)</p> | <p>・保証書</p> |
| <p>・VGA 分岐ケーブル</p> | <p>・取扱説明書 (本書)</p> <p>・AC アダプタ (本体+電源ケーブル)</p> |
| <p>・IO ケーブル</p> | <p>・サーバ制御ケーブル (4 ピン)</p> <p>・内部電源ケーブル (5 ピン)</p> |

2 リモートサービスボードについて

この章では、本製品について説明しています。

2.1 特長

本製品は、専用の CPU・OS・通信インタフェース・電源により、サーバの状態に依存せずに動作しサーバの状態を監視する製品です。また、関連ソフトウェア（ServerView など）と連携し、次の機能を管理者に提供します。

- ・サーバの状態監視
- ・サーバ異常時の管理者への通知
- ・サーバの遠隔操作

また、本製品は次の通信インタフェースをサポートしています。

- ・LAN（10BASE-T / 100BASE-TX）

LAN ケーブルは本製品には含まれません。

本製品の詳細は、サーバ本体に添付の「ドキュメント&ツール CD」内の『ServerView ユーザーズガイド』を参照してください。

また、本製品のサーバ本体への取り付け／取り外し方法は、サーバ本体に添付の「ドキュメント&ツール CD」内の『ユーザーズガイド』を参照してください。

重要

- ▶ 本製品を使用するには、ServerView が必要です。必ずインストールしてください。ServerView の機能については、『ServerView ユーザーズガイド』を参照してください。

2.2 仕様

本製品の仕様を次に示します。

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 品名 | リモートサービスボード |
| 型名 | PG-RSB103 / PG-RSB103L (LowProfile) |
| 対応スロット | PCI スロット（信号は使用せず） |
| 外部インタフェース | LAN（10BASE-T/100BASE-TX） |
| コネクタ | IO コネクタ（VGA+USB+AC アダプタ）、LAN コネクタ |
| AC アダプタ | 出力電圧：DC5V、出力電流：Max2A |
| カードサイズ | カード長：167mm、カード高：65mm（ブラケット含まず） |
| 質量 | 約 0.2kg（ただし、AC アダプタ、ケーブルを除く） |

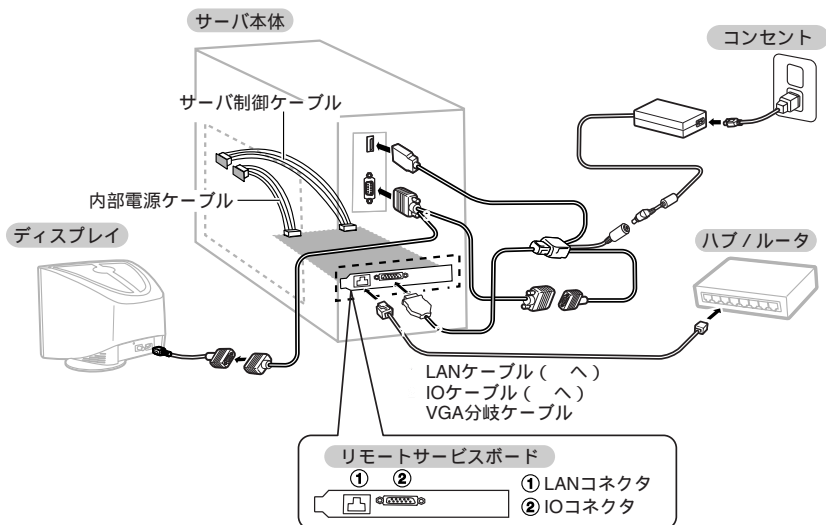
3 ケーブルの接続

この章では、各ケーブルの接続方法を説明します。

本製品に、各ケーブルを接続します。

■ サーバ制御ケーブル／内部電源ケーブルの接続方法

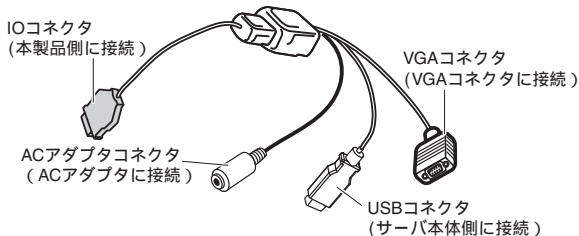
本製品に添付のサーバ制御ケーブルと内部電源ケーブルを、サーバ本体側の対応するコネクタに接続します。詳細は、サーバ本体に添付の「ドキュメント&ツール CD」内の『ユーザーズガイド』を参照してください。



■ IOケーブルの接続方法

IOケーブルの接続方法について説明します。

- 1 IOケーブルのIOコネクタを、本製品側のIOコネクタ(②)に接続します。
- 2 IOケーブルのUSBコネクタを、サーバ本体側のUSBコネクタに接続します。
- 3 IOケーブルのVGAコネクタを、VGA分岐ケーブルのVGAコネクタに接続します。
- 4 IOケーブルのACアダプタコネクタを、ACアダプタのプラグに接続します。



■ VGA 分岐ケーブルの接続方法

VGA 分岐ケーブルの接続方法について説明します。

- 1 VGA 分岐ケーブルを、サーバ本体と IO ケーブルの VGA コネクタにそれぞれ接続します。
- 2 VGA 分岐ケーブルの一方に、ディスプレイに接続する VGA ケーブルを接続します。

■ LAN ケーブルの接続方法

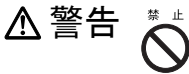
LAN ケーブル（別売）の接続方法について説明します。



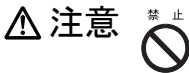
- ▶ 本製品は、DHCP から IP アドレスを取得するように設定されています。本製品をネットワークに接続する前に、必要に応じて IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更方法は、サーバ本体に添付の「ドキュメント&ツール CD」内の『ServerView ユーザーズガイド』を参照してください。

- 1 LAN ケーブルを本製品の LAN コネクタ (①) に接続します。
- 2 もう片方のコネクタを、ハブやルータなどに接続します。

■ AC アダプタの接続方法



- ・ AC アダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・ AC アダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。



- ・ 取扱説明書に記載されていない AC アダプタは使用しないでください。また、AC アダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。
- ・ 使用中の AC アダプタは、布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。
- ・ 電源プラグを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり切断されたりして、火災・感電の原因となることがあります。



- ・ リモートサービスボードに添付の AC アダプタは、サーバ本体の動作状態（動作時・休止時）にかかわらず、周囲温度が 0 ~ 35 °C の環境を守ってご使用ください。特に夏場は、必要に応じて夜間・休日にも冷房を入れて、周囲温度が 35 °C を超えないようにしてください。温度条件が守られないと、火災・故障の原因となります。

ACアダプタの接続方法について説明します。

- 1 ACアダプタの本体と電源ケーブルを接続します。
- 2 ACアダプタのプラグとIOケーブルのACアダプタコネクタを接続します。
すでにIOケーブルの接続時に接続を行った場合、接続する必要はありません。
- 3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続します。

重要

- ▶ ACアダプタは必ず接続してください。ACアダプタが接続されていない場合、本体サーバの電源が切断されている間の本製品の動作は保証されません。

POINT

- ▶ 信頼性の向上のため、本製品のACアダプタの電源プラグは、サーバ本体の電源プラグを接続した電源とは異なる電源に接続することをお勧めします。

■ 留意事項

- 本製品を接続した場合、ディスプレイの輝度が低下することがあります。この場合、ディスプレイの輝度を上げるように調整してください。
- ディスプレイのリフレッシュレートの推奨値は、70Hzです。ディスプレイの表示の解像度が低下する場合は、リフレッシュレートを70Hzに調整してください。
- 本製品を搭載した場合、本体サーバに接続されるキーボードの異常がPOSTで検出できない場合があります。キーボードの動作がおかしい場合は、本製品とサーバ本体を接続しているUSBケーブルを外してサーバを起動し、POSTでキーボードのエラーが表示されるかどうかを確認してください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆インキで印刷しています。